

No.

2023年5月現在会員数
1/75,140

MSB! MAGAZINE
2023 - 2024

116



ムサビと
これからのマガジン
msb and the future magazine

creation is my life no.33 - Keiko Yamato
From msb! website Talk Relay - Kanae Ono / Kei Toyoshima
Grose up Eitanni - Shiga

SESSION

LONG
IN THE DRAWING
Chum ↑ Pom
Die



第26回武蔵野美術大学地域フォーラム 「アート&デザイン2023」大人の芸術祭 8/5(土) - 8/13(日) 10:00 - 17:00

武蔵野美術大学校友会は今年で90周年を迎えます。長い歴史の中で、カタチを変えながらも日本全国を巡ってきた定期総会 / アート&デザインは、今年、耐震改修工事を終えてリニューアルオープンした、市ヶ谷キャンパスで開催することになりました。テーマは「大人の芸術祭」。校友会 90周年と市ヶ谷キャンパス完成を祝して開催いたします。市ヶ谷キャンパスとは？「大人の芸術祭」とは？ その一部をご紹介します。



8F 校友会事務局

7万人のムサビ卒業生全員(!)の集まりである校友会は、大学・学生支援から支部活動、校友会イベントの運営、会報誌の発行やWEBサイト・SNS等の広報活動を行います。
※電話番号や住所が変更になります。詳細は会報誌裏表紙をご確認ください。



7F コワーキングスペース MA

大学と社会をつなぐ新しいカタチのコワーキングスペース。交流と創造を育む拠点として企業や自治体との共創や創造性リカレント教育の拡充を行います。



5F & TALK

ゲスト：イイノナホ / Chim ↑ Pom from Smappa!Group エリイ / かつぴー / KIKI 小杉幸一 / 佐藤詩織 / 辛酸なめ子 / 杉田陽平 / ソーズビー・キャメロン / 高橋毅中島健太 / なかしましんや / 藤井亮 / 眉村ちあき / 萩原幸也 & more (敬称略、五十音順)
※ゲストは変更になる場合もございます。 ※各回事前申し込み制。詳細は後日校友会WEBサイトに公開。



2F & MARKET

応募締切：
6/16(金) 17:00 必着

1階MUJiComからのアクセスが可能なオープンな場所で、作品を展示・販売していませんか？ 学生、卒業生のみならず、ぜひご応募ください！ 詳しくは、校友会WEBサイトをご覧ください。



1F MUJiCom

『繋がるコミュニティが生まれる場所』をコンセプトに、大学と企業、地域の方々がさまざまな取り組みを行っていきます。
10:00 - 20:00 / cafe: 11:00 - 20:00 (ラストオーダー 19:30)



B2F & EXHIBITION

各方面で活躍している卒業生の作品を市ヶ谷にて公開。この機会をお見逃しなく！
出展作家：イイノナホ / 因幡都頼 / 梅沢和木 / 角谷郁恵 / 後藤映則 / 杉田陽平 / 広瀬奈々子 布施茂 / ブルースタジオ / 堀尾幸男 / 町田結香 / 矢後直規 / 山田耕太郎 / 山本大貴 (敬称略、五十音順)



会場：武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス
〒162-0843 東京都新宿区市谷町田1-4

アクセス：JR中央・総武線「市ヶ谷」駅より徒歩3分
東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」駅
都営新宿線「市ヶ谷」駅4番出口より徒歩3分

※市ヶ谷キャンパスには駐輪場・駐車場はありません。
自転車・オートバイ・お車でのご来校はお控えいただき、
公共交通機関をご利用ください。

主催：武蔵野美術大学、武蔵野美術大学校友会
後援：一般社団法人女子美術大学同窓会、
一般社団法人多摩美術大学校友会、東京造形大学校友会

武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス

プロジェクトベースの教育研究にふさわしい
アクセス良好な都心キャンパス

実社会との関わりを通して美術大学として新たな未来を切り拓くための教育研究拠点および情報発信拠点として 2019 年に開設しました。産官学プロジェクトを複数実施するためのスペースや、プロトタイプを行うためメディアに合わせたスタジオを整備し、地域・社会に広く開かれたキャンパスを目指しています。また、造形構想学部クリエイティブイノベーション学科[※]の専門課程(3・4年次)と大学院造形構想研究科造形構想専攻クリエイティブリーダーシップコースおよび、ソーシャルクリエイティブ研究所の拠点となります。

※造形構想学部クリエイティブイノベーション学科「創造的思考力」を実社会で応用する方法を学ぶ、新たな美術大学としての試みの場 / アートの理解と実践を主軸とする造形教育を基軸に、企業・自治体・政府機関と連携するプロジェクト実践、それらを支える先端専門教育を通して、自身の視点でビジョンを見だし、課題解決を実践する総合力を身につけます。

2023年度定期総会のご案内

2023年度総会議決は「書面表決」、表決報告は市ヶ谷キャンパスとオンライン配信の両方にて開催する運びとなりました。つきましては、委任状または書面表決書のご提出を同封ハガキにて、6月30日(金)までにお送りいただきますようお願い申し上げます。

議案書

校友会WEBサイトの「定期総会のお知らせ」ページに、PDFにて掲載しておりますのでご覧ください。

校友会WEBサイト

msb@msb-net.jp

PDFログインパスワード

msb_soukai2023

2023年度定期総会は市ヶ谷キャンパスにて開催、配信を行います。

開催日時	2023年8月5日(土) 14:30 - 16:00
開催場所	武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス 5階
配信	Zoomにて
お申込み	6/30(金)までに、お名前、メールアドレス、出席方法(会場または配信)を下記の校友会事務局までお送りください。 ※席数に限りがあるため、会場への出席は抽選となる場合がございます。

⚠️ 注意事項 ※回線・機器の状況によっては通信が不安定になり、それを原因とした映像等の不具合が発生する場合がございます。

⚠️ 禁止事項 ※配信URLの転送や、SNSなどでの公開はご遠慮ください。 ※視聴中の録画・録音、画面のスクリーンショットや撮影および転載は、お断りいたします。

MAU Information

#1

ムサビ展覧会情報

開館日時などは変更の場合があります。
最新情報はWEBサイトや各種SNSをご確認ください。

美術館・図書館

- 若林 奮 森のはずれ

6/1(木) - 8/13(日)

展示室 2・4・5、アトリウム 1・2
- MAU M&Lコレクション：絵画のアベセデール

6/1(木) - 7/2(日)

展示室 3
- 三浦 明範 — vanitas vanitatum

7/15(土) - 8/13(日)

展示室 3
- 生誕100年 大辻清司 眼差しのその先
フォトアーカイブの新たな視座

9/4(木) - 10/1(日)

展示室 3・4・5
- 大浦 一志 — 雲仙普賢岳／記憶の地層

9/4(木) - 10/1(日)

展示室 1・2、アトリウム 1・2
- 西田 俊英 — 不死鳥

10/23(日) - 11/19(日)

展示室 3・4、アトリウム 2
- 助教・助手展2023
武蔵野美術大学助教・助手研究発表

12/4(月) - 12/23(土)

展示室 2・4・5、アトリウム 1・2、第10講義室

開館時間	11:00-19:00(土・日曜日、祝日は10:00-17:00)
休館日	水曜日、展示準備期間、入構禁止期間
入場料	無料
問合せ先	TEL:042-342-6003 WEB:mauml.musabi.ac.jp Twitter:@mau_m_j

gallery αM

- αMプロジェクト2023-2024

「開発の再開発 Redevlopment of Development」

ゲストキュレーター：石川 卓磨(美術家・美術批評)

- vol.1 平山 昌尚・5/20(土) - 7/15(土) ※夏季休廊
- vol.2 近藤 恵介・7/29(土) - 10/14(土) 8/13(日) - 8/28(日)
- vol.3 Sabbatical Company・10/28(土) - 12/23(土)

市ヶ谷キャンパス2階へ移転しました。

開廊時間	12:30-19:00
休廊日	日・月曜日、祝日
入場料	無料
問合せ先	TEL:03-5829-9109 WEB:gallery-alpha.com

キャンパスイベント

オープンキャンパス・芸術祭等の各種来校イベントについては
大学WEBサイトをご確認ください。

Q www.musabi.ac.jp

奨学生卒業制作優秀賞作品

校友会では、在学支援として、卒業制作に掛かる奨学金を贈与しています。
2022年度は、20名採用し、10名が優秀賞に選ばれました。

@hechenglin_art



「スターゲイザー・パイ — 鯨山水 —」
インスタレーション
キャンバス、箔、岩絵具、墨、アクリル絵具、顔料
可変

@u_kyt
@kiyoto7270410



「Neuter(rs) | Neuter(ub)」
樟木、岩絵具、膠、鉄
2020×660×920、2010×640×920(mm)
艶やかな男性や凛々しい女性が始点となり、「中性的な人とは何か」について考えてきた。卒業制作ではシルエット、色彩、佇まいの3つをキーワードとし表現した。

@yumemi_ta_



「Guide to Anywhere」
ガラス、金液、銀液、紙、アクリルパネル、缶切り、研摩、
接着、金彩、銀彩
ガラス作品：350×200×200(mm) (3点)、
パネル：297×219(mm) (3点)
このガラス作品は、物語的な世界への憧れを集積し保存して
おくための容器であり、オブジェであり、また非現実の世界
を必要とする私と私以外の誰かに機能する装置でもあります。
そしてそれぞれのガラス作品は、そこから想起される物
語へとつながっています。私たちの、精神の迷走のために。

@kyok2000



「わたしはあなた、あなたはわたし」
インスタレーション
糸、LED テープライト、木材
2930×4350×2500(mm)
糸を天井から吊るし、光を当てて糸の影を作り、奥の壁には
線を描き足した。これら線が交わることで空間を織り成し
ている。私はただの人間だ。でもあなたと作品を通して交差
できればいい。宇宙はそう成り立っている。



「広告のレトリック
— 現実空間の再現を逸脱するメッセージ —」
紙
本：128×182(270頁)
文学に、反語や比喩などの言葉のあやで、表現を豊かにし
たり説得力を持たせる(レトリック)という技法がある。そ
の構造を視覚表現に置き換え、広告作品のビジュアルを当
てはめることで分析、図化し、本にまとめた。

何承霖
日本園学科

田中千里
油絵学科 版画専攻

@chisato_tanaka_



「都市のリズム」
紙、インク、リトグラフ
3330×7350(mm)
私にとって版画の機能は1枚の絵をたくさん増や
すことです。ビル群を繰り返すパターンとして描き、
刷り、繋げてどこまでも広がる都市の風景画をつく
りたいと思いました。

上野聖人
彫刻学科

渡邊優斗
視覚伝達デザイン学科

@yuto_no_kiwami



「東京新歌枕」
液晶ディスプレイ、紙
映像：各3分30秒(10点)、本：各146×60(10点)、
ポスター：各900×260(mm) (10点)
歌枕は和歌の技法で、特定のイメージが付された地
名を指します。そんな歌枕の面白さを伝えるべく、
多くの人がSNSに投稿する東京各地のイメージを
かき集めて現代版の歌枕を制作しました。

坂上桜月
空間演出デザイン学科



「深息」
インスタレーション
実家のカーテン、紙
可変
大きな窓のある図書館テラスに来ると、カーテンの
中から窓の外を眺めるのが好きだった頃の様々な記
憶が呼び起こされる。実家でずっと使っていたカー
テンをほどき、一本の糸に糸にものを再び縫うこと
で、その記憶を表出させた。

高木里音
映像学科

@takagiriwon



「TOKYO ELEVATION」
インスタレーション
RGBLED パネル、木材、鉄パイプ、ほか
可変[映像：10分00秒を含む]
東京の地盤をビジュアライズしそのスケールを実
感できる形態で展示することを目的とした。約2m
のLED ディスプレイを設置し地質情報をもとに制
作したモーショングラフィックスを表示した。

野村昂平
通信デザイン情報学科 デザインシステムコース

@nomura_artwork



「μ(ミュー)
— 海中を可視化するアプリー —」
液晶ディスプレイ、タブレット、スマートフォン
可変
これまで海中の情報は手の届かない状態でした。
そこで、海中の情報をユーザ同士がリアルタイム
に共有できる「海中を可視化するアプリ」を作りま
した。これにより、海中を見える化し海の世界をオー
プンにします。

SESSION 1 Kong Interview No.44

私は、普遍的なテーマを媒介している



Photo : Kentaro Miyazaki

エリイ

Chim ↑ Pom from Smappa!Group

「ムサビの仕事は今回が初めてなんだ」。
 朗らかにそう言いながら新宿歌舞伎町能舞台に姿を現したのは、
 艶やかな着物に身を包んだエリイ。
 アートを介してさまざまな社会問題を世の中に突きつけるアーティスト・コレクティブ、
 Chim ↑ Pom from Smappa!Group (以下、Chim ↑ Pom)のメンバーである。
 エリイはムサビの視覚伝達デザイン学科出身。
 「ついにムサビの会報誌に載る、という日が来た」と笑い、
 歌舞伎町にある伝統的な美容院でセットしてきた和髪と着物に劣らない存在感で場を照らす。
 在学中から現代美術の第一線を走り続けてきた彼女は、どんな学生時代を送り、
 どんなことに心を動かされてきたのだろうか。

現代美術と出会い、「もうマジこれだ」と思った

- ➡ エリイさんが現代美術と出会ったのは高校時代だったとか。そのときのことをお聞かせいただけますか。

高校の美術の先生が授業で横浜トリエンナーレに連れていってくれて、初めて現代美術を知ったんです。そこで塩田千春さんや会田誠さんの作品を観て、「こういう表現方法があるんだ」「普段、学校の帰りとかに考えていることが仕事になるんだ」と衝撃を受けて。それまでは、美術といえばシャガールやマティス、ピカソなどの「トイレやレストランに飾られる絵」という認識でしたが、現代美術と出会って「もうマジこれだ」と思いました。当時は現代美術なんて誰も教えてくれない時代だったので、その先生が革新的でとてもラッキーでした。

- ➡ それで美大の道へ？

美大に行くことは高1のころからなんとなく想像していました。3歳から習っていたピアノの先生が、絵を描くことが好きだった私に勧めてくれたんです。だから、そのころから夏期講習には行っていました。が、「芸術家になる」とかは考えていませんでした。

- ➡ 美大のなかでもムサビを選んだのはなぜですか。

いろんな美大のオープンキャンパスに行ったんですが、ムサビの正門をくぐると1号館に続く茶色い階段がありますよね。あれを見てなぜか「マジで絶対ムサビに入って毎日この階段を歩きたい」って思ったんですよね。いざ入学したら自転車通学でほぼ裏門から入っていたので、あの階段はほとんど通りませんでした。

- ➡ (笑)。視覚伝達デザイン学科を志望した理由は？

美術予備校の私大コースに通うのですが、倍率が1番高いから目指せ視デ！の流れに影響されたのと、オープンキャンパスでタイポグラフィの作品をみて絶対に視デに行きたい、と思いました。余白のはじによく見えないくらいのフォントサイズでスッとデザインされたような……。それがすごく気に入りました。

高校生のときは学科をまったく勉強しなかったの、浪人するつもりでいて、一浪して視デに入学しました。一応、ほかにも受けていたんですが、視デ以外はすべて落ちました。

- ➡ 視デで印象に残っている授業はありますか。

1年生の授業で、食べものをつくる過程をデザインするというような課題があって、にがりから豆腐をつくったことを憶えています。結局うまくできなくて、豆腐には到底見えないカスみたいなものがくっついてるタッパーを持っていったんですが、それを後藤吉郎先生が臆することなく爪楊枝ですくって食べてくれて……。学生が課題でつくったものだからということでしょうか、それを見たときは「なんで？」とびっくりして、いまだに印象に残っています。あとは、同級生とペアを組んで、手をとって誘導してもらいながら目隠しかつ裸足で校内を歩いて、感覚を研ぎ澄ませるような内容もありました。

私は友だち11人と青梅街道沿いにあるアパートに住んでいて、2〜3年のころは学校に行かずに、いつもみんなで部屋に集まっていたので、1年と4年のときは単位をとるのにめちゃくちゃ忙しかったです。

会田誠を介して出会った6人

- ➡ 大学3年のときにChim↑Pomを結成した経緯をお聞かせください。みなさんとは会田誠さんを介して出会ったとか。

さっき話した横浜トリエンナーレで会田誠さんの展覧会のDMを見つけて、後日トークイベントに参加するために高校の同級生とギャラリーへ遊びにいったんです。そしたら本人から「僕の絵のモデルにならないか」と言われて、そこからモデルをするように。Chim↑Pomのメンバーもそれぞれ制作を手伝ったりしていたので、みんなとはそこで知り合いました。もう20年以上の付き合いですね、誠とは……

- ➡ 「誠」って呼んでるんですか！?

誠とか会田さんとか。親しみを込めて“Sekai No Makoto”と呼んだりもしています。この前もメンバーの家にみんなで集まりました。

- ➡ 会田さんとはどんなお話をするんですか。現代美術やエリイさんの活動について話したりも？

芸術作品やアートにまつわる出来事を通して、歴史や社会について見解を話してくれます。現代美術って点と点がつながって初めて立体的に見えてくるものなので、「それはこういうつながりがあるんじゃない？」とか。私の活動については特になんとも思っていないと思いますけど。

- ➡ Chim↑Pomはどんなきっかけでスタートしたのですか。

当時、西荻窪にあった会田さんの家で、若者数十人が集まってよく飲んでいました。そのなかにいたメンバーが「この6人でおもしろいことができるんじゃないか」って声をかけてくれました。当時は「世界一を目指す」というざっくりとした活動方針で、「ジャパニーズポップな響きがあるから」「ポップコーンが弾けるみたいだから」というふざけた理由で『Chim↑Pom』って名づけました。ノートにいくつか候補を書いたりしたんですが、最終的には国分寺の踏切を渡ったときに思いつきました。「↑」は「気分がアゲ」の意味です。「なんでこんな名前をつけたんだろう」といまだに考えさせられるところなんか、私たちらしいです。これぞChim↑Pomの活動の醍醐味です。

- ➡ (笑)。最初の作品『ERIGERO』※1は、メンバーの「イッキ」コールに合わせてエリイさんがピンクの液体を飲んで吐く、衝撃的な映像作品です。あの作品はどのように生まれたのでしょうか。

あのころの私、春夏秋冬めちゃくちゃお酒を飲んでよく吐いていました。それを受けてChim↑Pom内で会議してあの形になりました。前日も歌舞伎町で飲んでいて、二日酔いで撮影場所に辿り着くのが大変でした。あれは誠の家の2階で撮ったんですよ。

実は、当初は大学3年の夏休みの課題として提出したんです。ほかの映像作品も合わせて『Happy Summer 2005』というタイトルにしました。そうしたら視デの寺山祐策先生に学生200人くらいの前でめちゃくちゃ怒られました。卒業後に寺山先生に偶然会ったときも「当時のことをいままも続けているんだね」と励ましてくれました。



※1
ERIGERO
男性メンバーたちの「イッキ」コールに合わせてノリノリでピンクの液体を飲んで吐くという行為を繰り返す映像作品。フェミニズム、ダイエット、ピンクやガワイイが象徴するような日本のギャル文化など、さまざまなテーマを内包しながら、エリイの豪快な作風で現場を飲み込んでいく享乐的なトランス感が特徴的である。結成当時の作品であり、手拍せず「フリーヤ」「パーティー」が現代のリアルなコンセプトとしてChim↑Pomに憑依した、記念碑的な作品となった。

- 先生にとっても衝撃的な学生だったんですね。『ERIGERO』をはじめ初期作品から早くもアート界で話題を呼びましたが、卒業後も活動を続けることは自然な流れだったのですか。

芸術家になるつもりはそんなにありませんでした。夕方に起きるような生活スタイルで、かつ自分に合う職業を考えると、選択肢は芸術家しかなかった。6人全員がそういう感じです。めっちゃいい奴らなんだけど、みんなとにかくサボりたい。

Chim↑Pomは不思議な関係性です。基本的にお互い、なにをして生活しているのかよく知らないし、揉めるときもあるけどそれすらもダルい。ただ息を吸って無為な時間を過ごして生きているだけなんです、会議をしているときにたまに奇跡的な瞬間があって、それが作品になっている感じです。ひとりでもガラガラしたメンバーがいたら、もうちょっとマシになっていた気がする。

- 就職せず芸術活動を続けるとなると、資金面の問題が出てくると思いますが、初期ころの活動資金はどう賄っていたのですか。

大学卒業後の2007年に、カンボジアの地雷を私の私物や石膏像と一緒に爆破処理する『サンキューセレブプロジェクト アイムボカン』※2というプロジェクトをおこないました。帰国後にチャリティーオークションを開催して、爆破物を作品として販売したんですが、そのうちのひとつの財布をメンテナンスしていたら、私の口座の明細書が出てきて……。残高500円にも満たなかったです。それからはティッシュを配ったりしつつ、私は20代のときにメディアに出たりしていたので、展覧会や制作で物入りになったときのためにその収入を「Chim↑Pom貯金」として貯めていました。

- 資金面で余裕が出てきたのは？

現在はChim↑Pomからメンバーに毎月給料が支払われていますが、いまでも風呂なしアパートに住んでいるメンバーがいますよ。以前はメンバー2人が、私の実家にしばらく住んでいました。活動資金については、自分たちで展覧会を開いたときや、ギャラリーが作品を販売するなどしたときに収入が入るので、それを貯金して充てています。



※2
サンキューセレブプロジェクト アイムボカン

中学生の時、ダイアナ妃が地雷除去を行う映像を見て、セレブリティに強共感したエリイの「ダイアナ妃みたいにチャリティーをしたい」という夢を実現するために実施したプロジェクト。(ハネムーン後約1か月間のカンボジア滞在中に、エリイの私物である高級バッグやマフラー、セレブ・ボーイのエイがかたどった石膏像など計7点を、爆破処理される地雷とともに爆破。地雷被害児を養いながら目前で地雷除去をする、現地住民らの協力の下で行われた。カンボジアから帰国したChim↑Pomはチャリティーオークションを開催。オークションをいとうせいこう氏とエリイが行い、爆破物を作品として販売した。このオークションでは有名なアート作品と同じ価格からスタートし、買い手がつくまで値を上げていくという、通常のオークションとは逆の方式を採用。スクリーンには随時その時点での価格がのぞく日本円、カンボジアリアルで表示され、その価格で買える義足の本数も提出された。売上総額は210万円(約30万円)は、自分たちの取り分の105万円を手に残りカンボジアを訪れ、寄付が必要だと思われた人々に全額を届け。



Photo : Michael Pollard

※3
A Drunk Pandemic
2019年イギリス・マンチェスターのヴィクトリア駅地下にある巨大な廃墟のトンネルで展開したプロジェクト。
Chim↑Pomは「コレラで亡くなった人々が埋葬されたマンチェスターの地下(現在のヴィクトリア駅地下)の廃墟に「ビール工場」を設置し、オリジナルビール(A Drunk & Pandemic)を醸造。コレラや酵母といったバイオロジカルなプロセスを可視化し、それらと下水道などの街のインフラにまつわる歴史的な関係を文脈とした、Chim↑Pomの「都市画」として展開された「A Drunk

of Pandemic」の直営店としてトリーライ型公共便所を「Pub Pandemic」(トイレとしてもバーとしても機能する)として開き、Chim↑Pom自身がバーテンダーを務めた。その「Pub Pandemic」のトイレから、下水道を延長し、会場内にセメント・ブリック工場「Brick Beer」を設置。本場者の尿溜じった汚水(を消毒したものでブリックを量産。それらは最小単位の建築素材としてイギリスに送り、マンチェスターの街路や家修復材としても使われた。ビール醸造所、パブ、トイレから下水道を経由して工場、そして街中まで遊ぶ壮大なプロジェクト。



Photo : Rob Connor

自分たちの身近なところから派生させていく

- Chim↑Pomの作品のアイデアはどうやって思いつくのですか。

私の場合は、頭のなかにいつも川が流れているんです。最近の出来事や考えていることが川になって流れていて、シャワーを浴びているときなどふとした瞬間に、川が合流して利根川になる、みたいな。その利根川から考えを取り出すイメージです。

2019年の『A Drunk Pandemic』※3もそんな感じでひらめきました。イギリスのマンチェスターのヴィクトリア駅地下に、コレラで亡くなった人たちが埋葬されているんですが、そこで地元のブルワリーの人と一緒にビールを醸造したんです。これも、小学校の授業で「菌」が空気中に浮遊していることを習ってから、頭のなかでずっと川が流れていました。作品のために場所のリサーチをしているときに、それがコレラや酵母に結びつきました。

- 作品をつくるとき、「Chim↑Pomらしさ」というものはどこまで意識しているのでしょうか。

自分たちの身近なところから派生させていく、というのはあります。自分たちの心にグッと寄り添ってくるもの、関連や縁があるもの、自分ごととして捉えられるものをテーマとして扱うようにしています。

- たとえば『ヒロシマの空をピカッとさせる』※4は、当初は社会的騒動になりましたが、のちに被爆者団体との交流や新たなプロジェクトへとつながっていきました。世間や関係者のリアクションによって作品がアップデートされていく過程も、Chim↑Pomらしさのひとつだと感じているのですか。

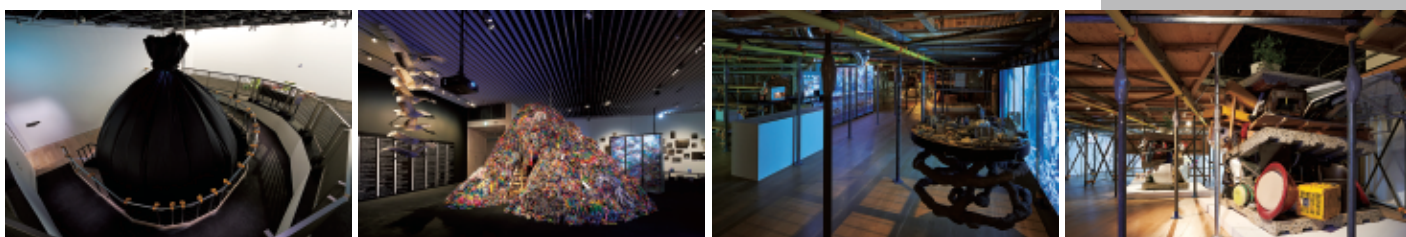
社会情勢や環境によって、作品の見え方や意味も変わってきますよね。震災の原発事故が起きる前と後では原爆の見え方が変わってくるように。だから私たちがどう見せるかではなく、周囲によって作品が変化していくというふうにつまえています。



※4
ヒロシマの空を
ピカッとさせる

広島・原爆ドームの上空に、飛行機雲で「ピカッ」という文字を描いた作品。広島の風景に過去のひとコマのような記憶語を描き、ゆっくと消えていく様子に記憶の風化を重ねること、戦後日本の平和に対する現代的な歴史観を映し出した。

※5
Chim↑Pom展：
ハッピーズプリング



「Chim↑Pom展：ハッピーズプリング」
森美術館（東京）2022年
撮影：森田家次
画像提供：森美術館

好奇心を抱く余力が湧いてくる

- ⇒ 2022年に森美術館で開催された『Chim↑Pom展：ハッピーズプリング』※5も、初の大規模回顧展として話題になりました。

開催まで何年もありましたが、最後のほうはお客さんが急増してチケットが買えなくなるくらい盛況でした。でも、コロナ禍で海外の人が来られない状況だったのはもったいなかったですね。いま思うと時期を変えればよかったのですが、当時はコロナ禍も先が見えない状況でしたし、美術館との会議の時間が長すぎて疲弊してしまっていました。

- ⇒ 協賛に関する問題も浮上していましたが、スポンサー関連では苦労すること多いですね。

海外も含めて、美術館にスポンサーが入ることはあっても、Chim↑Pomに入れることはほとんどないです。誰かにになにかしらの気をつかうのは嫌だし、表現の規制はする側にとってもされる側にとってもよくない。ケースバイケースですが、自分たちで貯めたお金でやるのがいいですね。

今年の夏あたりにはまた東京で展覧会を予定しています。自分たちのお金でおこなう展覧会が、私たちには向いていますね。

- ⇒ エリイさんといえば、結婚や出産などご自身の人生を作品化することも多いですね。そこにはどんな思いや意図がありますか。

それ、最近気づいたんですね。森美術館の展示を見て、「私、人生を作品化してるな」って。さっきの「自分たちの身近なところから派生させて作品をつくっていく」じゃないですけど、結婚して苗字が変わるとか、子どもを産むとか、人生は社会と密着していますよね。銀行口座の名義を変えるにしても「ん？」って疑問が湧いて、それが作品に繋がっていきます。

ただ、作品＝私ではなくて、私はただ普遍的なテーマを媒介しているだけ。私の心の状態や身に起きたことや体験を、媒介して出来たものが作品です。

- ⇒ ご自身の結婚披露宴を街頭デモとして実施した2014年の『LOVE IS OVER』※6は、どのように発想したアイデアなのですか。

あのときはちょうど、展覧会の開催と作品集の出版が決まっていた、そこに私の結婚が重なったタイミングだったので、テーマはそれで行こうと。メンバー、夫、友だちと時間をかけてたくさん会議をして企画しました。夜中の2時から歌舞伎町の風林会館

でパーティーを開いて参列者みんなで飲み明かして、翌朝、西新宿にあるロバート・インディアナのパブリック・アート《LOVE》まで愛のデモをする。それを篠山紀信氏やレスリー・キー氏に撮影してもらって、写真集として出版しました。

私、いまだに「結婚って何だろう」と問い続けているんです。好きなら単に二人でいればいいだけなのに、私は籍を入れました。そういうプライベートなことをパブリック化する感じを、パーティーと街頭デモという形で可視化してみたプロジェクトです。

- ➡ 妊娠・出産体験を綴った初のエッセイ『はい、こんにちはー Chim↑Pom エリーの生活と意見ー』（新潮社）も出版されましたね。以前インタビューで「息をするのもダルい」と言っていたエリーさんが、母になる道を選んだことは意外でした。

甥の存在が大きいですね。それまではまわりに子どもがいなかったのですが、甥と触れ合っていくうちに子育てへの好奇心が湧いたんです。赤ちゃんが産まれたらなかなか飲みにいけなくなったりはしますが、これまでに死ぬほど飲んだからもういいや、という決断もありました。

息をするのもダルかったのが、いまは「飯をつくらなきゃいけない」なので、生活環境が変わって朝起きるようになりました。自分でもなければ友だちでもない新しい存在が身近にいてくれるってというのは、ありがたいですね。死ぬのが怖くなりました。

- ➡ いまは朝起きることも苦ではない？

とっても苦です。でも、それとは別に新しい体験への欲求があります。これまで20年近く、日中の太陽を浴びることなんてほとんどなかったから、「光ってこんな角度で射すんだ」とか「こんな感じで暖かい風が吹くんだ」とか、自分が子どものときの感覚と比較したりしています。子どもと動物園に行ったときも、「私、意外と動物の名前を知ってるな」って気づいたり、好奇心を抱く余力が湧いてくるんですよ。

- ➡ 最後に、最近チャレンジしていることをお聞かせいただけますか。

最近をよく文章を書いていて、『波』という冊子で子育てについて連載中です。『はい、こんにちは』を書いたあとにその編集者さんが「小説を書きましょう」と勧めてくれて、短編の連載もしました。2月には『私小説』（河出書房新社）というオムニバス形式の小



Photo : Kishin Shinoyama



Photo : Leslie Kee

※6
LOVE IS OVER
2014年にエリーの結婚披露宴として行われたパーティーとデモ。1月24日の深夜から夜通し会場に飲んで騒ぎ続け、翌朝10時半から街頭デモに移行。新宿歌舞伎町から歩き始め、西新宿に設置されているロバート・インディアナのパブリック・アート《LOVE》を目指した。タイトルは、ウェディング・デモが《LOVE》で解散し、参加者各々がジョー・レンソン＆オノ・ヨーシによる「WARRIS OMEN」をもって名付けられた。結婚は社会的公的の行為である。このアクションは、

プライベート／パブリックの両面を、パーティーと、申請を必要とするデモによって描き出そうという試みとして始まった。その結果、社会と個人の愛の関係や、婚姻制度や婚姻などにまつわる社会的責任、パブリック・アートの異化による公共空間の奪取、合法的な路上パーティーから見る風俗法の問題、さらに無差別な愛の披露としての至聖結婚パレード、祭事としての「星の嫁入り」など、さまざまな日本的な要素が「最終に響けられたデモ」という状況で可視化された。

説も出版されたので読んでみてください。いまは長編に取り組んでいます。

Chim↑Pomの作品は6人の脳みそが集まってできるものだけど、文章を書く行為は私ひとりで行う作業なので、怠けがさらに進みます(笑)。心をそのまま移せる感じや、言葉を繰り出したり当てはめたりする感覚は好きで、すっかり文章の虜です。

- ➡ 文章のほかに、やってみたいこと、目指していることがあれば教えてください。

私、ビジョン的なものって掲げたことがないんですよね。10年後になにしているとかわかんないし。ただ、継続することは得意なんです。幼稚園から高校までカトリック系で、毎日お祈りをしていたので、続けるということに慣れました。やめることが不得意というのもありますが。だからChim↑Pomも今年で18年目ですが、まだまだやりたいですね。

あ、朝5時に起きる生活をしてみたい。5時まで飲んでいたことはあっても、毎日5時に起き続けるなんて未知の世界なので。「1日長いな、よく生きたな」って満足したいです。

Profile

エリー／アーティストコレクティブChim↑Pom from Smappa! Groupのメンバー。社会問題やそのシステムに対し独自の視点から現代のリアルを提示、都市論を展開。国内外の美術館に作品がコレクションされる。



Photo : Kentaro Miyazaki

SESSION 2 Creation is my life No.28

たまとけい

山と旅のイラストレーター



「蝸牛登山画帖」2021年7月5日発行 株式会社 山と溪谷社

やりたいことを続ける

「私、絵を描くよりも山に登っているほうが楽しいです」。当時、油絵学科を担当されていた遠藤彰子教授に、私は本音を漏らした。友人たちは、まったく大和は、と周りで笑っていたが、遠藤教授だけは「あなた、それでいいのですよ!」と少女のように瞳をキラキラさせた。「なんでもいい、やろうと思ったらすぐにやる。躊躇せずにやる。そのことを続けたら、そういう人間になれます」。やりたいことを躊躇せずにやる。やりたいことを続ける。それでいいのだ、きっと。

自分の描きたい絵が分からなかった。描きたい絵を描くという心を、私はどこに置き忘れてきてしまったのだろう。次第に絵を描くことよりも、山に登ることに夢中になっていった。絵を描くことから逃げていたのは分かっていて。もつと精神的に強くなりたかった。重たい荷物を背負って、独り黙々と山を歩くことが多くなった。山はその時々私の心を映し出すかのように、圧倒的な存在感をもって迎えてくれた。

卒業後も私は山に登り続け、やがて黒部源流の山小屋で働くようになった。とにかくやりたいことをやり続けた。山、美術造形、イラストレーター、文章書き。旅に出ては絵を描き、後にそのことが仕事になることもあった。私の絵や文章には、大好きな山小屋の風景や、旅で感じたエピソードなどが自然と顔を出すようになった。だが生活も仕事も絵を描くときと同じで、なかなかうまくはいかない。それこそ試行錯誤の繰り返し。泣きながら頭を抱えながら、それでもイメージに近づけていくという地道な作業。

あのとき遠藤教授が「それでいいのですよ!」と言った理由が、今では少し分かるような気がする。「やろうと思ったらずきにやる」と言ったことも。描きたい絵を描くということは、やりたいことを躊躇せずにやること。自らの感性が織りなすイメージを突き詰めて形にするということ。つくることは、生きるということそのもののようだ。

あの時、遠藤教授は、きっと私にそう言ってくれたのだろう。



やまと けいこ (大和 景子) / 1974年、愛知県大府市生まれ。武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。大学時代はワンダーフォーゲル部に所属。卒業後はイラストレーターと美術造形の仕事をしながら、山小屋での勤務を始める。絵を描きながら海外一人旅も。著書に「黒部源流山小屋暮らし」「蝸牛登山画帖」(山と溪谷社)

<https://www.yamatokeiko.com>

@yamatokurobe

@yamato_keiko



SESSION 3 From msb! Website

TALK RELAY

msb!トークリレー!や校友発掘キャラクターなど校友会WEBサイトで連載されている企画の紹介です。

1. Kanae Ono 2. K e i Toyoshima

子供服という特殊性

子供服ブランドBonpointでデザイナーをして8年目になります。ファッションの中でも子供服ブランドは、独特な位置にあります。子供の目線からデザインしていく、デザインのプロセスが同じなようで、普段とはまた違う思考回路が必要です。時には正反対な目線からモノを提案していきます。きっと自分の世界観が、子供っぽいものが好きなのも、この職について理由なのかもしれません。

ファッションへの多角的なアプローチを重ねた日々

ムサビでの4年間は、クリエイターとして活躍する先生方と共に、世界観を持つことの大切さ、表現の自由と思考の深さを学びました。2004年にアパレル会社のデザイナーとして就職してからは環境が180度変わりましたが、クリエイションのプロセスは、学生のころからほぼ変わっていませんでした。自分のデザインしたものが、商品として店頭で並ぶのを見て嬉しかったのを覚えています。傍ら、学生から引き続きアウトプットを続けてきた故に、知識不足や表現の限界に対する物足りなさを感じていました。

ちょうど紙媒体が少しずつデジタルに移り変わり始めていました。2006年からHarper's BAZAARで編集

をしていた5年間は、インプットそのものでした。様々な世界で活躍しているクリエイターに出会い、興味があるすべてのモノに触れることが可能な環境でしたので、今まで以上に深い知識と広い出会いに恵まれました。

フランスでのリスクリングの喜び

技術的にも知識的にもさらに深めたい気持ちが強くなり、渡仏。2010年から通った、ファッションスクールStudio Berçotでの2年間は、一度社会人を経てからでしたので、一つ一つの課題への思いが特別で、学ぶ楽しさも格別でした。

ファッションを広い視野で見たムサビ、ファッションデザインに集中したStudio Berçot、また作り手側のデザイナーから、作り手を外から評価する編集者。すべて正反対の立ち位置で、実際やってきたことはバラバラですが、共通していることは忠にファッションがあり、基本的な思考回路は変わっていません。

周りを観察することが好きなのと、中でも揺らぐことのない自分の世界観を持ちつづけていくことを大切にしています。きっと今もなお、ムサビで学んだ時と同様に、ファッションを広い視点で見ているからこそ、挑戦することに対してためらいがないのだと思います。



Bonpoint SS22 キャンペーン / 2021年

自分の世界観を
持ちつづけていくこと



Bonpoint AW17 カタログ撮影 / 2016年

Kanae Ono

小野 奏恵

(ファッションデザイナー)

2003年度
造形学部空間演出デザイン学科
卒業



チャレンジしなくなったら、
生きている気がしない。
チャレンジしなくなることが、
一番のリスク。

Kei Toyoshima

豊嶋 慧

(ファッションデザイナー)

2005年度
造形学部空間演出デザイン学科
卒業



Bottega Veneta FW22 ルックブック撮影のバックステージにて - ミラノ
photo: Kei Toyoshima / 2021年

ムサビでの「4年間」

何も持ちえていなかった自分から、社会に出る準備を整えていた卒業までの4年間。周りから見れば、すべてのことは東京の片田舎、小平周辺で起きたことで、私のことを知る人達は、私の変化を特には感じてはなかったと思う。同じ環境と同じ毎日に、若さから来るフラストレーションも感じていたが、その思いをバネに、将来、海外へ渡る準備を進めていた。

ファッションデザイナーとしての「4年間」

かたや直近の4年を振り返ってみると、私の周りの環境という点では非常に目まぐるしい変化があった。パリにてファッションブランドのHaider Ackermannのヘッドデザイナーを経たのち、ミラノに引っ越し、Bottega Venetaのヘッドメンズウェアデザイナーを務めた。現在はアイスランドのアウトドアウェアブランド、66° Northのクリエイティブディレクターを務めながら、パリにベースを戻し、Louis Vuittonのメンズウェアデザイナーも兼任している。

駆け出しの頃に先輩のデザイナーから「転職できないデザイナーは、業界で実力が無いと思われる。海外のファッションスクールを出て、卒業制作が取り上げられるスターでもない限り、叩き上げで実力を見せていくしかない」と言われたのを覚えていて、新しいチャンスがあれば、常に挑戦をしてきた。あまりに速いペースで新しいことをやっていくので、周りのデザイナーの友人も、私の行動は理解に苦しむらしい。新しく物事を始めるということは、環境が変わる上に人間関係も変わってくるので、変化にリスクを感じるようだ。



66° Northのチームメンバーと撮影旅行 - アイスランド
photo: Kei Toyoshima / 2022年

仲間と共に

ここで表現したいことは、何も「最近色々頑張っているんです」と言いたいわけではない。「4年間」という期間が人をどう導いていくのか、ということの例であって、何に指標を置くかによって人の捉え方は変わってくる。今思えば、私はムサビで何が自分を動かす原動力なのかを言語化できたことに「私自身の成長」を感じていたし、モラトリアムと言われる日本の大学が、技術や知識という点で得られるものが少ないとしても、私にとっては未来へ導くコンパスになっていたことは間違いない。

「私自身の成長」という点に焦点を当てるならば、ムサビでの4年間とファッションデザイナーとしての4年間は、私にとって何ら変わることはない。変わったことといえば、社会との関係であって、自分自身との向き合い方には、大きな変化はない。私が社会との関係性を自分から変えられるようになったのは、

チャレンジすることで精神的成長が得られたからに他ならない。新しい経験、知識を得たあとは、世界は全く違うように見える。それは私にとってとても喜ばしいことであり、原動力になっている。

次の4年間はどんな世界が待っているのか、実感としては、孤軍奮闘でやってきた今までから、また一つ成長して、人と共闘していく未来が見えている。未だに、自分自身にクリエイティブの才能があるかなどは考えたことすらないが、私は他に代わりのきくような人にはなりたくない、誰も追いつけないところまで走り切るつもりだ。

今後、一緒に並走してくれるかもしれない仲間が、少しずつできていることが現在の楽しみ。今、たまたまここを通り過ぎてくださった皆様と、将来何かプロジェクトをやっているかもしれない。考えるだけで人生はエキサイティング。ここで出会ったのも何かの縁、今後ともご最良のほどよろしくお願い申し上げます。

Branch NEWS

学科支部より

生デの会

当会のホームページを刷新しました。見やすく操作しやすく、いい感じになっています。ここで何を発信できるかわくわくしながら考えています。まずは、卒業生や先生たちの近況取材してご報告します。また、卒業生の皆さんから学生時代の課題作品や思い出の写真など、生デにまつわる宝物を募集します。どうかご協力を！

生デ研の黄色い扉を開くように、新しいホームページへいらっしやいませんか。

Q seidenokai.com

『生デの会』会長 田村陽子



支部長・事務局長交代

支部長

- 〇 栃木 増野 喬 → 笠原空也 (98学建)
- 〇 京都 竹内澄博 → 松下勝郎 (89学彫)
- 〇 奈良 服部純幸 → 岡園伝 (00通美)

事務局長

- 〇 新潟 高橋秀造 → 星伸二 (83学油)
- 〇 山梨 堀内孝則 → 中川徳子 (87短デ空)
- 〇 奈良 武野しずえ → 高田裕功 (81通美油)

逝去された会員の方々 皆さまのご冥福を心よりお祈りいたします。

64 短デ芸・小和田 陽子 (榎本) / 56 校図一一・結城 俊弥 / 94 短生・杉本 亘 / 61 短デ美商・取出 勝彦 / 97 通美・小林 万大
58 短美商・中島 篤 / 00 通美・細川 幸博 / 63 校美二一・入倉 宗哉 / 70 短デ商・水島 美知子 (小川) / 75 学建・上杉 真也
74 通デ商・高梨 敬久 / 65 学美油・柳井 淑子 (鷹橋) / 52 校本彫・宮 忠子 (森) / 65 学産商・谷口 正和 / 09 通油絵・堀場 孝雄
64 短専商・峰広 光生 (2022年10月〜2023年3月連絡のうち掲載承諾のみ掲載) ※敬省略、()内は旧姓 逝去のご連絡は事務局までお願いいたします。



校友会カレンダー

校友会のイベントや支部活動の予定表です。
2023年3月現在の情報です。

- 6

神奈川

武蔵野美術大学出身作家によるM展
26(㊟)→7/2(㊟)
画廊 染I & II / 045-681-7255
支部問合せ先 : 080-5009-6148 (神奈川支部長)
- 長崎

長崎支部展
日時未定
佐世保市博物館島瀬美術センター / 0956-22-7213
支部問合せ先 : 090-2513-8638 (長崎支部事務局長)
- 後援展覧会

3名以上のムサビ卒業生のいるグループ展へ後援(名義・助成金)を行っていただきます。詳細やお申し込みは校友会WEBサイトをご覧ください。
- Sei Oggi - それぞれの今日 - vol.6 (院美油グループ展)

26(㊟)→7/1(㊟) うしろ画廊
- 6月展 (通油絵グループ展)

5(㊟)→10(㊟) ギャラリー 檜
- 7

茨城

武蔵野美術大学校友会第20回茨城支部展
4(㊟)→9(㊟)
つくば美術館 / 029-856-3711
支部問合せ先 : ibaraki@msb-net.jp
- 大阪

msb 大阪支部展「Synergy」
11(㊟)→16(㊟)
江之子島文化芸術創造センター 4階 / 06-6441-8050
支部問合せ先 : <https://www.msb-osaka.org/index.html>
- 高知

総会 & 懇親会
16(㊟)
居酒屋食堂ちとから。 / 088-856-6977
支部問合せ先 : msb.kochi.obog@gmail.com
- 愛知

愛知支部総会
29(㊟)
葵俱樂部(愛知事務局) / 052-934-7035
支部問合せ先 : <https://www.facebook.com/msbaichi>
- 8

沖縄

小品展
1(㊟)→26(㊟)
港川レストランrat&sheep / 098-963-6488
支部問合せ先 : <https://www.facebook.com/msb.okinawa>
- 本部(東京)

アート&デザイン2023・2023年度定期総会
5(㊟)→13(㊟)
武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス
支部問合せ先 : msb@msb-net.jp
- 三重

武蔵野美術大学校友会三重支部展「び・SAM展」
16(㊟)→20(㊟)
三重県立美術館県民ギャラリー / 059-227-2100
支部問合せ先 : 080-5121-3016 (三重支部長)
- 9

福岡

武蔵野美術大学校友会福岡支部展
5(㊟)→10(㊟)
北九州市立美術館 アネックス / 093-882-7777
支部問合せ先 : fukuoka3763@msb-fukuoka.com
- 通信

musa2アート&デザイン展 2023
12(㊟)→17(㊟)
世田谷区民ギャラリー
支部問合せ先 : <https://musa2.org>
- 滋賀

第22回武蔵野美術大学校友会滋賀支部展
22(㊟)→24(㊟)
栗東芸術文化会館きらら / 077-551-1455
支部問合せ先 : kskrtsk@nike.eonet.ne.jp (滋賀支部事務局長)
- 茨城

クロッキー会
24(㊟)
牛久市中央生涯学習センター
美術工芸室 / 029-874-311
支部問合せ先 : ibaraki@msb-net.jp
- 埼玉

ムサ美埼玉2023展
26(㊟)→10/1(㊟)
埼玉県立近代美術館 / 048-824-0111
支部問合せ先 : <https://musabi-saitama.jimdofree.com/>

後援実績 (承認 2022 年 11 月 ~ 2023 年 3 月)
卒業生グループ展等への後援助成 6 件
校友会WEBサイトにて、後援実績をご紹介します。



CARAVAN

N°63

はやかわ かつみ

早川 克美

86 / 学工

京都芸術大学教授 / F.PLUS代表

環境デザイナー兼教授、早川克美の挑戦は「GKインダストリアルデザイン研究所」から始まる。公共空間のデザインに携わり、転職後は集中的にサインデザインに取り組んだ。大学で講師を務めたことをきっかけに教育に関心を抱く。京都芸術大から声がかかりオンライン新学科設立に関わり、これまで教えた学生は約8000人。「デザインの思考を身につけた人を育て、社会を変える」早川の挑戦は続く。

CARAVAN

N°64

もりかげ さとみ

森影 里美

08 / 学視

もりかげ商店

学生の頃からカフェ巡りが好きで、卒業制作ではお菓子和その原料生産者を紹介する冊子を制作し、学内で喫茶店を開いた。卒業後はデザインと料理の制作・監修をするユニット「オカズデザイン」での勤務を経て、お菓子製造・販売の「もりかげ商店」を開業。シンプルな焼き菓子は素材選定が重要になる。現在は函館にて活動拠点の北海道の風土、素材を活かしたお菓子作りを探索している。

CARAVAN

N°65

たけうち まこと

竹内 誠

86 / 院デ建

(公社)日本サインデザイン協会会長
(株)竹内デザイン代表取締役

卒業後は、大学院での知識が現場では通用しないことを痛感しながら、仕事に励む日々だった。その後サインデザインを専門とする「黎デザイン事務所」に入社し、転機を迎える。数々のサイン計画で、グラフィック、プロダクト、プレゼン手法など幅広いスキルを修得した。独立後、渋谷(駅・街)サインプロジェクトなど「複雑化した都市の仕組みをわかり易くする」サインを幅広く展開している。

秋頃 生デの会 見学会
日時未定 会場未定
支部問合せ先: <https://seidenokai.com/contact/>

10 山 梨 第11回山梨支部展2023
5(木)→9(月) 山梨県立図書館イベントスペース/0552-55-1040
支部問合せ先: yamanashimsb@gmail.com

奈 良 スケッチ会
8(日) 奈良市 猿沢池周辺
支部問合せ先: 090-8379-1976(奈良支部事務局長)

神 奈 川 1日スケッチ会
9(月) 横浜港付近探訪
支部問合せ先: 080-5009-6148(神奈川支部長)

奈 良 奈良支部展
26(木)→30(月) DMG MORI やまと郡山城ホール/0743-54-8000
支部問合せ先: 090-8379-1976(奈良支部事務局長)

本 部 (東京) 第11回校友会サロン風月 武蔵野美術大学
28(土)→29(日) 鷹の台キャンパス 12号館8F 談話室 MAU
支部問合せ先: msb@msb-net.jp

富 山 (仮)一刀彫体験会
中旬予定 富山市
支部問合せ先: 090-1632-1727(富山支部事務局長)

福 島 幹事会
日時未定 会場未定
支部問合せ先: 未定

11 愛 知 むさ美茶会&小品展 ※日程変更の場合有
11(土)→12(日) 葵倶楽部(愛知事務局)/052-934-7035
支部問合せ先: <https://www.facebook.com/msbaichi>

栃 木 武蔵野美術大学校友会栃木支部展
17(金)→21(火) 栃木県総合文化センター/028-643-1000
支部問合せ先: qtpws865@ac.auone-net.jp(栃木支部事務局長)

福 島 懇親会
日時未定 カフェマリアージュ ルルペバン/024-983-0168
支部問合せ先: 未定

京 都 秋の集い
日時未定 会場未定
支部問合せ先: <https://msbkyoto.jimdofree.com/>

日 月 会 第8回「長尾重武賞」
日時未定 武蔵野美術大学建築学科研究室
支部問合せ先: <https://www.nichigetsukai.com>

12 大 阪 忘年会
10(日) 会場未定
支部問合せ先: <https://www.msb-osaka.org/index.html>

福 島 反省会
日時未定 会場未定
支部問合せ先: 未定

支部展「新人賞」(2022年10月～2023年3月)

各都道府県ごとに開催される支部展では、支部の選出のもと最大3名、新人賞を表彰しています。受賞作品はWEBサイト、各種SNSにて公開中！

Q https://www.msb-net.jp/news/news_rooki

f msnbnet.jp

t msb_alumni

i musabi_alumni

13名
受賞



新卒学年幹事紹介(73名)敬称略

院美日 リオンアシュリ 学日 藤本 恭子、ショウエイリョウ 学油院 寺内 大登 学油油 山口 大介、江崎 空悟、佐藤 駿乃輔、的野 仁紀、キム ジウウォン、川本 仁紀 院美版 松尾 華子 学油版 道又 蒼彩
院美版 古西 穂波 学日 萩原 沙奈恵 院美版 小野 晴世 学日 稲田 拓真、岡部 諒、川勝 有子、小泉 明品、白鳥 結愛、渡邊 優斗 院美版 平沼 みなみ 学工 鈴木 真尋、宮本 万凜、比留間 柊花
小野 寺葵、向井 奈生子、武藤 結実、千代 雄大 院美版 チョウ カンシン 学空 城 凜香、小島 亜佑子、藤巻 汐梨、西脇 あかり、佐藤 水音 院美版 近藤 直輝 学建 奥田 涼太郎、吉川 布記、吉田 真
院美版 ゴ カイセイ 学基 伊澤 花、中村 隼人、二文字 リの 院美版 大石 菜月 学映 砂田 紗彩、高木 里音、東方 香央海、新井 吉亮 院美版 植松 依子 学芸文 佐野 悠斗、菅野 悠、イウンソ
塚本 萌生 院美版 コウ ブンキン 学日 工藤 康真、西河 優、清水 香帆、古閑 晴子 院美版 松永 恵実 院CI 平塚 翔太 学CI 丸山 源登 通油絵 小山 洋子、谷口 明美、太田 雛子 通油日 澤木 識頭
土屋 絵里 通油版 高橋 真由美 通工生 大久 保麻子 通工生 長谷川 藍子 通芸造 安永 和可子 通芸文 和田 香織 通デコミ 中山 里沙 通デシ 野村 昂平

※2022年度から新たに、クリエイティブデザイン学科からの卒業生が加わりました。

2022年度の新卒学年幹事会は、通学、通信合わせて17名の方に参加いただきました。

支部クローズアップ



集合写真



展示風景

滋賀支部

卒業生
在住者数

102名
(2022年2月)

滋賀支部

「第21回武蔵野美術大学校友会滋賀支部展」

滋賀県ご出身の方、滋賀県在住の方の展示等、活動情報を募集しております。

支部活動参加希望者もご連絡ください。 Q kskrtsk@nike.eoner.ne.jp

コロナ禍で滋賀支部展は2年連続の中止となり、ようやく昨年9月に開催することが出来た。寄る年波には勝てず、いつものメンバーは1人欠けたが、洋画・日本画・染織・写真と多彩な部門の出品があり、作品は力作ぞろいだった。

少人数でも運営してこられたのは、ひとえに本部と近畿6府県の繋がりのおかげではないだろうか。滋賀県出身の在校生のみなさん、勉学の成果を故郷の親御さんや友人達に観てもらいませんか。支部展にご招待させていただきますので、ご参加申し込みをお待ちしています。

滋賀支部事務局長 柏倉淑子

滋賀県の
おすすめスポット

滋賀はメジャーな県ではない。紹介する時は「京都の隣」とか「琵琶湖のある県」としか言っていない。が、歴史的には目を見張るものがある。

弥生時代の銅鐸が多く出土し、戦国時代には様々な武将たちが天下取りの為に駆け巡り、城跡・古戦場は数々を擁する。江戸・明治・大正・昭和と栄えた近江商人達が住み続けた歴史的遺産とされる街並みもあちらこちらに残されており、今では映画のロケ地に選ばれ、人気がある。都会からは少し離れた閑静な地で、感性豊かなのである。



彦根城 (滋賀県提供)



近江商人屋敷 (滋賀県提供)



令和4年度卒業式典
2023年3月17日(金)
体育館アリーナ
撮影者: 宮下見久

オンライン新卒学年幹事会 2023年3月15日(水)Zoomにて開催。学年幹事は校友会とクラスを結ぶ仲介役です。

REPORT

2022年度会計報告



皆さまからの会費と募金が
学生への支援、校友会の
後援事業等の支えとなります。

会費納入・奨学金
募金のお祝い

校友会は校友相互の親睦を図り、
校友の活動を支援することと、武
蔵野美術大学の発展を主な目的
として活動しています。終身会費
のお支払いと奨学金募金のご協
力をお願いいたします。

財務部

奨学募金

2022年10月1日～2023年3月31日
寄付の方々

- | | |
|-----------|-----------|
| 88 小林 智子 | 67 川端 保子 |
| 77 土橋 邦俊 | 67 中村 堯子 |
| 92 岸川 彩子 | 75 小泉 信子 |
| 72 池田 常子 | 81 狩野 博恵 |
| 05 鈴木 幸子 | 89 津野 大 |
| 76 市川 尚子 | 80 清野 秀夫 |
| 02 岩下 幸一 | 91 武野 しずえ |
| 18 佐久間 文子 | 06 藤原 恭子 |
| 69 萬澤 まつ江 | 09 松川 明大 |
| 12 太田 守重 | 64 猪股 京子 |
| 16 田中 清江 | 00 田中 リヨヌ |
| 21 阿部 理季香 | 13 雨宮 修一 |
| 76 藤倉 俊則 | 89 熊沢 タ子 |
| 01 深川 多永子 | 72 森本 克幸 |
| 07 和賀 咲子 | 91 能勢 榮 |
| 61 安達 武男 | 15 本村 由美 |
| 86 米倉 初子 | 16 三宅 一生 |
| 79 小倉 紀子 | 02 打田 知成 |
| 79 中村 香 | 18 河西 久美子 |
| 86 横山 廣子 | 92 林 輝代 |
| 65 久世 アキ子 | 85 高梨 智子 |
| 70 里森 滋 | 87 中川 徳子 |
| 72 清水 やよ生 | 94 中島 和賀代 |
| 18 田中 秀夫 | 65 伊藤 洋子 |
| 13 野村 ヨシ子 | 75 西岡 康雄 |
| 13 長谷川 千瑛 | 68 木南 好子 |
| 59 伊能 洋 | 〇 匿名希望4名 |

※敬称略 送金順 数字は卒業年度
2022年度 計128件(匿名希望8名)

1,293,000円

A 収入の部 ¥42,527,302

科 目 決 算 額
(予算額)

入会金	¥80,000 (¥40,000)
新卒生会費	¥35,597,862 (¥35,597,862)
既卒生会費	¥2,213,000 (¥1,800,000)

奨学金募金	¥1,293,000 (¥1,000,000)
-------	----------------------------

会報広告掲載料	¥322,185 (¥500,000)
---------	------------------------

会員データ整備 共同事業費	¥197,464 (¥200,000)
------------------	------------------------

会報発行協賛金	¥2,000,000 (¥2,000,000)
---------	----------------------------

受取利息	¥568 (¥10,000)
------	-------------------

雑収入	¥252,040 (¥10,000)
-----	-----------------------

貸付金回収	¥12,000 (¥12,000)
-------	----------------------

前年度繰越金	¥559,183 (¥559,183)
--------	------------------------

基金積立金 取崩収入	¥0 (¥0)
---------------	------------

基金積立金取崩収入 (¥0)

B 支出の部 ¥41,954,343

科 目 決 算 額
(予算額)

会報発行費	¥12,844,104 (¥12,900,000)
校友会紹介冊子 作成費	¥704,650 (¥750,000)
ウェブサイト 更新拡充費	¥453,185 (¥500,000)

会員データ整備費	¥930,012 (¥750,000)
----------	------------------------

広報費	¥705,220 (¥900,000)
-----	------------------------

総会運営費	¥213,569 (¥350,000)
-------	------------------------

ホームカミングデー 関連費	¥263,391 (¥400,000)
------------------	------------------------

四美大アラムナイ 関連費	¥91,568 (¥250,000)
-----------------	-----------------------

奨学金費	¥2,000,000 (¥2,000,000)
------	----------------------------

支部助成費	¥2,452,500 (¥3,100,000)
-------	----------------------------

校友活動支援費	¥1,498,196 (¥2,000,000)
---------	----------------------------

新規事業費	¥88,500 (¥200,000)
-------	-----------------------

会議会合費	¥816,862 (¥800,000)
-------	------------------------

交通費	¥255,655 (¥200,000)
-----	------------------------

交際費	¥38,610 (¥200,000)
-----	-----------------------

事務局給与	¥9,990,864 (¥10,000,000)
-------	-----------------------------

事務局交通費	¥346,634 (¥350,000)
--------	------------------------

福利・厚生費	¥1,262,620 (¥1,500,000)
--------	----------------------------

事務用品費・ 消耗品費	¥272,582 (¥350,000)
----------------	------------------------

什器備品費	¥16,865 (¥250,000)
-------	-----------------------

通信費	¥422,036 (¥400,000)
-----	------------------------

リース料	¥100,980 (¥120,000)
------	------------------------

業務委託費	¥1,217,680 (¥1,350,000)
-------	----------------------------

各種手数料	¥96,515 (¥140,000)
-------	-----------------------

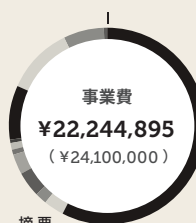
事業諸経費	¥2,371,545 (¥1,600,000)
-------	----------------------------

予備費支出	¥0 (¥369,045)
-------	------------------

周年行事準備 積立金支出	¥2,500,000 (¥0)
-----------------	--------------------

A - B 当期収支差額 ¥572,959

2022年度決算報告書(案)については、議案書より
ご覧いただけます。詳細は2ページをご覧ください。



摘要
①会報年2回発行発送費
②インフォメーション
リーフレット、Caravan-
book vol.3 発行 ③更新・
保守 運営、web 改 修 費
④情報整備、システム改修、
アルバイト ⑤芸祭支援
報費、校友発掘キャラバン
取材費 ⑥通信費、ハガキ、
シークレットシール印刷代
等 ⑦ ホームカミングデー
「サロン風月」運営費 ⑧美
術を楽しむ日イベント、実
行委員会等 ⑨奨学金給付
金(20名) ⑩全支部対象助
成費 57支部 ⑪校友・支
部活動後援費、展覧会新人
賞副賞費、支部活性化支援、
出張費等 ⑫事業委員会



摘要
①会議打合せ費等 ②活動
交通費 ③慶弔費等 ④事
務局員3名(常勤・嘱託)給
与、賞与 ⑤事務局(常勤・
嘱託) 交通費 ⑥法定(事
務局社会保険料・労働保険
料等) ⑦印刷、コピー、文
具、コピー用紙、トナーカ
ートリッジ等 ⑧事務局用品、
什器代 ⑨電話・FAX・郵
便・メール便・配送料等
⑩ビジネスフォン(4台) ⑪
卒業生システム保守料、貸
金庫料、税理士料・事務局
長委託料 ⑫振込手数料等
⑬各事業に係る人件費、交
通費等



M A U Information #2

パリ賞 受賞者

● 吉野 祥穂子

2018年度 造形学部視覚伝達デザイン学科卒業
本館(2023年10月渡仏)

● 野上 勝己

2014年度 造形学部映像学科卒業
別館(2023年10月渡仏)

2023年度パリ賞募集について

武蔵野美術大学では本学卒業生(卒業、修了後2年以上8年未満)を対象としたパリ賞を設置しています。受賞者には、フランス・パリにある国際芸術都市アトリエを創作活動の場として1年間提供し、副賞として100万円の研究費が支給されます。

パリ賞の応募にはエントリーが必要になりますので、応募を希望する方は事前にエントリーを行ってください。

応募方法等の詳細は募集要項をご確認ください。

2024年度募集要項は、2023年5月上旬に大学ホームページに掲載予定です。

問合せ先 ☐ paris@msb.ac.jp

第7回「武蔵野美術大学建築学科長尾重武賞」

後援：武蔵野美術大学校友会

いけのうえ ゆうこ ● 池上 裕子

1977年度 建築学科卒業

受賞作：

暮らしとところに風を入れる

「家開き」術

すぎむら かずき すぎむら しほ おだ けんじ ● 杉村 和紀・杉村 志帆・小田 権史

2012年度 建築学科卒業

受賞作：狩宿の家

卒業生アンケートに回答いただきありがとうございました

教学企画チームでは、大学IRの一環として既卒生を対象としたアンケートを毎年実施しております。2022年度調査結果を大学webサイトに公開いたしました。ご回答をありがとうございました。次回は2013年度、2020年度卒業生を対象に実施する予定です。

調査対象	① 2012年度学部卒業生、② 2019年度学部卒業生
調査方法	校友会システムのメール送信機能を利用したWebアンケート方式
回収状況	送信数1,667(①727、②940)、回答数88(①43、②45)、回収率：5%

集計結果

- 武蔵野美術大学および卒業学科について**
「大学への満足度」を「満足」「やや満足」と回答した卒業生は9割程度。「卒業学科への満足度」を「満足」「やや満足」と回答した卒業生は8割程度。
- 武蔵野美術大学および卒業学科について**
「教育理念」「カリキュラム」「教員」「施設・設備」について、魅力があると回答した卒業生は8～9割程度あった。一方で「キャリア支援」「部活・サークル活動」が充実していたと回答した卒業生は半数程度にとどまった。「経済的な支援」の肯定的評価は3割に満たなかった。
- 武蔵野美術大学の建学の精神・教育理念**
建学の精神を「知っている」「聞いたことがある」と回答した卒業生は5割程度。3ポリシーの策定は近年であったことから認知度は2～3割であった。
- 大学の授業が役に立っていると思う点について**
「幅広い知識・ものの見方」「問題をつまみつけ、解決方法を考える力」「ものごとを分析的・批判的に考える力」「専門分野に関する知識・理解」が高かった。
- 武蔵野美術大学に期待する点、今後さらに充実すべき点について**
全体的に更なる充実を求める回答が多かった。
詳細は大学webサイトをご確認ください。(大学概要→大学の取り組み→各種アンケート結果)

Q <https://www.musabi.ac.jp/outline/effort/questionnaire/>

UB「先輩の活躍」本棚

美術館・図書館では「先輩の活躍」という書棚を設け、卒業生が関わった本を在学生に紹介し、貸出可能な蔵書としています。関係したご本人より献本をいただける場合は、下記宛にお送りください。(なお、その際には関わり方についてお知らせください。例：筆者、編集者、編者、監修、イラスト、装丁等)

送付先：〒187-8505 東京都小平市小川町1-736

武蔵野美術大学 美術館・図書館「校友献本受け入れ」係



恩師退任



くろかわ ひろたけ
黒川 弘毅

役職 教授
研究室・専攻 彫刻学科
ブロンズにおける量塊形成と形象生成(彫刻)の産出。ブロンズ彫刻の技術と保存(彫刻)の残留。
在任期間 2003.4～



もりやま あきこ
森山 明子

役職 教授
研究室・専攻 デザイン情報学科
デザインジャーナリズムに基づくメディア編集術 近現代日本造形論。
在任期間 1998.3～



じんのうち としひろ
陣内 利博

役職 教授
研究室・専攻 視覚伝達デザイン学科
「みること」「みせること」の歴史的・科学的な検証を通じた、映像・展示・データベース・検索システム・ネットワーク構築などこれからのヴィジュアルコミュニケーションのあり方の研究。
在任期間 1997.4～



やまざき かずひこ
山崎 和彦

役職 教授
研究室・専攻 クリエイティブイノベーション学科
社会のためのデザインアプローチ、エクスペリエンスデザイン、変革のためのデザイン。
在任期間 2019.4～



あま の まさる
天野 勝

役職 教授
研究室・専攻 空間演出デザイン学科
ファッションデザイン、ファッションブランドプロデュース、その他衣服と身体に関わるアートの研究。
在任期間 1991.4～



こばやし のりお
小林 のりお

役職 教授
研究室・専攻 映像学科
写真表現・映像表現。WEBネットワークにおける写真表現。
在任期間 2007.4～



こいけ ひろし
小池 博史

役職 教授
研究室・専攻 空間演出デザイン学科
舞台を構成する要素は「空間」「時間」「身体」。このブレンドとリズム化により、新たな可能性を発見する。
在任期間 2020.4～



しげまさ けいじ
重政 啓治

役職 教授
研究室・専攻 通信教育課程
日本画素材による絵画制作。
在任期間 2001.4～

恩師訃報



パク ヒョングク
主任教授 朴 亨國氏(57歳)

2022.12.27 逝去
2002.4 武蔵野美術大学助教授
2007.4 武蔵野美術大学教授
2008.9～ 武蔵野美術大学主任教授
(造形文化(現美術学美術史)研究室)



こたけ のぶたか
名誉教授 小竹 信節氏(72歳)

2023.2.8 逝去
1997.4 武蔵野美術大学助教授
2007.4 武蔵野美術大学教授
2012.4 武蔵野美術大学主任教授
(空間演出デザイン学科研究室)
2020.3 武蔵野美術大学定年退職、同年4月名誉教授



あいざわ つぐお
名誉教授 相澤 韶男氏(79歳)

2023.3.9 逝去
1977.4 武蔵野美術大学専任講師
1981.4 武蔵野美術大学助教授
1986.6 武蔵野美術大学教授
2014.3 武蔵野美術大学定年退職、同年4月名誉教授



ムサビズム展 - 武蔵野美術大学校友会関東圏合同展 公募概要

はじめに	2023年は校友会設立90周年にあたります。そこで、その関連事業のひとつとして、学科支部を含む関東圏6支部による合同展を開催し、支部活動の活性化を図りたいと思います。期間中はアートフォーラムやワークショップも開催します。皆様にご参加、ご来場をいただき、温かな親睦を深めたいと思います。
主催	武蔵野美術大学校友会
名称	ムサビズム展 - 武蔵野美術大学校友会関東圏合同展
会期	2024年(令和6年)4月10日(水)～4月16日(火)※15日(月)は休館日
会場	東京都美術館 1階第3、第4展示室
ジャンル	平面、立体、インスタレーション、映像、パフォーマンス 他
応募資格	武蔵野美術大学(大学院)、短期大学部、通信教育課程を卒業または中途退学された方、在学生で以下の条件を満たす方 ① 関東圏(茨城、神奈川、群馬、埼玉、千葉、栃木)支部に所属する会員または、ムサビの会、日会、基礎デの会の各学科支部に所属する関東圏に在住する会員 ② 東京都に在住、または上記関東圏に在住で、卒業後支部の活動に参加されていない方 ③ 2024年3月時点で在学中の学生(卒業制作、修了制作含む)

出品規格	① 大きさ ・ 平面作品 100号まで ・ 立体作品 床面1,500mm×1,500mm、重量300kg/m ² 以内 ② 既発表・未発表を問わない
出品点数	複数作品の場合は、出品規格の大きさに収まる点数
出品料	校友会会員:10,000円(但し、校友会費未納の方は、別途校友会費も必要となります) 在学生:5,000円
申し込み期限	2023年6月1日～12月末日(※参加費の支払期限は12月末日)
※申し込み方法、搬入、搬出等詳細については、後日あらためて「公募要項」にてお知らせいたしますので、ご確認ください。なお、2023年6月を目途に合同展専用WEBサイトを開設予定です。WEBサイトでも上記情報を公開しますので、ご参照ください。	
問合せ先	合同展専用WEBサイト(6月設置予定)にて問合せください。

ムサビ通信体験談

「ムサビに感謝」
ニックネーム・モリッシー

「短大グラフィックで2年間学び、卒業制作では原弘賞を受賞。在学時からエディトリアルに興味を持ち、卒業後は出版社のデザイナーとしてスタート。それから5年後にムサビ通信の4年制が開校されることになり、いっしょに入学。通信での2年間は、仕事と学業を両立させながら、第一期生として卒業した一年後に非常勤講師として再びムサビ通信に。15年間お世話になりました。ムサビで学んだことが教えたことほども貴重な財産です」

「版画をやるなら武蔵美で!」
ニックネーム・パビエ

通学時代に興味を持った銅版版画を30年後に通信で学びました。充実した工房で4版種全ての実技が学べる。専攻以外の授業も受けられるので、画材や技法を知ることができ、趣味の美術鑑賞がさらに楽しくなりました。

卒業年度
通 1981年
通 2016年

卒業年度
通 1997年
通 2004年

2020年 msb! magazine リニューアルコンペにおいて、「新世界」をコンセプトにプレゼンテーションさせていただきました。肌感としてこれまでと違う気配を時代に感じていたのかもしれませんが。ムサビ生がムサビ生たる所以は男闘異と女神闘に象徴されるようにどんな時代にいても創造し続ける部分だと思っています。リニューアル前半2年は The New World (新世界) / The Creation (創造) - 2021年 LOVE & PEACE (愛と平和) - 2022年のイメージでデザインさせていただきました。新しい世界に赴き、創造し、争い、平和の先に訪れる「調和」。次の2年間、msb! magazineは「HERMONY」をコンセプトに様々なクリエイターとセッションしながら校友の皆様により楽しんでいただける誌面をお届けできればと思います。

デザイナー 鶴岡裕至 (O5学歴)



はい、こんにちは Chim↑Pom エリイの生活と意見 新潮社

エリイ / 著

Kamikawa
武蔵美から一番近いギャラリー&カフェ
カミカワハウス
鷹の台駅徒歩5分 玉川上水沿い
https://kamikawahouse.studio.site/

企画 / 貸画廊
ギャラリー惣
http://www.gallery-sou.co.jp/
〒104-0061 東京都中央区
銀座7-11-6 徳島新聞ビル3F
TEL・FAX: 03-6228-5507

おもしろたのしい! 美術に役に立つ!
算数・数学教室
仙台でやっています!
090-5185-7215 菅原
chairman_colorful@mj-1.co.jp

USHIO
GarRo
うしお画廊
〒104-0061
東京都中央区銀座7-11-6 GINZA ISONO 23F
tel. 03-3571-1771 fax. 03-3571-9701



才門俊文の茶室教室
YouTube →→→
茶室・数寄屋
才門俊文建築設計事務所 武蔵美 建築学科卒

会報誌
バックナンバーを
ご希望の方は
事務局まで
ご連絡ください。

彩りある 未来創造パートナー
KUSAKABE
since 1928
www.kusakabe-enogu.co.jp

Artist's
Oil Color
Water Color
Aqyla
Daler-Rowney
Silver Clay
Others

BOULANGERIE
Pain
ensuite
destination
EMU
エミュー武蔵野美術大学店
営業時間: 8:00～20:00日曜定休 東京都小平市小川町1-736 TEL: 042-342-9539 株式会社イチカフ

額・画材・デザイン用品・文具
世界堂

店舗、イベント・実演や
注目商品など情報が満載!!
←コーポレートサイト
武蔵野美術大学店
(鷹の台キャンパス内 鷹の台ホールA棟1F)
042-349-3344
■ 画材・絵具・造形材料 ■ 文具・デザイン用品
■ 設計・製図用品・模型材料 ■ データ出力・製本・レーザー加工

事務局お知らせ

住所、氏名、メールアドレス、勤務先等に変更が生じた場合は、事務局までご連絡ください。

WEBサイトに掲載しませんか

受賞、展覧会情報をぜひお知らせください。校友会WEBサイト・SNSにて、校友の皆さまにご案内いたします。

メルマガで校友会の最新ニュースをお届けします

【隔月】校友会のニュースやイベント、大学の情報などをお届けします。ご希望の方は、校友会WEBサイトよりメールアドレスをご登録ください。

2023年5月24日に事務局を市ヶ谷キャンパスへ移転いたしました。
2023年6月1日より下記の通り窓口業務を開始します。

武蔵野美術大学校友会事務局
〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-4 8階
開局時間: 月曜日～金曜日(午前10時～午後6時) ※開局時間が変更になります。

〈お問合せ〉 <http://www.msb-net.jp>

✉ msb@msb-net.jp [@msbnet.jp](https://twitter.com/msbnet.jp) [@msb_alumni](https://twitter.com/msb_alumni)



2021
2022
2023
2024



会員特典

大学施設利用

武蔵野美術大学 美術館・図書館・イメージライブラリー・大学寮の継続利用。美術館・図書館およびイメージライブラリーは館内のみ利用できます。
※利用時、校友の確認あり / 年度単位の利用登録も可。なお出かけ前に大学のWEBサイトにて、開館情報を確認ください。
大学寮(奈良寮・五箇山無名寮)は卒業生料金にて利用できます。
www.musabi.ac.jp/outline/facility/welfare/
受付窓口 総務チーム
TEL 042-342-6021 / 9:00-16:30
(昼休み 12:40-13:40 日・祝除く)

日本フィルハーモニー交響楽団 演奏会優待利用

定期演奏会ほか一部の演奏会が10%割引になります。下記WEBサイトから即時予約可能です。
www.japanphil.or.jp/ticket/order
〔日本フィルチケット〕から会員登録(無料)後、「ログインページ」にて下記優待コードを入力

TEL 03-5378-5911 FAX 03-5378-6161
(平日 10:00～17:00) (24時間)
✉ order-ticket@japanphil.or.jp
お電話でご予約の際は「武蔵野美術大学校友会会員」とお伝え下さい。

全国のプリンスホテル施設の特別割引

ご卒業後は会員特典として特別価格にてご利用できます。下記WEBサイトから即時予約可能です。
www.princehotels.co.jp/keiyaku

お電話の場合は「武蔵野美術大学校友会会員」とお伝え下さい。
お申込み・パンフレットの請求は(株)プリンスホテル予約センターまで。
0120-33-8686 (固定電話)
0570-02-8686 (携帯電話)

ホリプロステージ チケット優待利用

校友会会員様の会員特典として特別価格で舞台・ミュージカルのチケットをご利用いただけます。下記WEBサイトからご予約可能です。
https://horipro-stage.jp/
ホリプロステージWEBサイトからチケット購入ボタンをクリックしてログイン
(右上チケット購入ボタン)からログイン

お電話でご予約の際は「武蔵野美術大学校友会」とお伝え下さい。
TEL 03-3490-4949
(平日 11:00～18:00)

NEW

歌舞伎座特別割引

下記期間の公演を特別優待にてご利用いただけます。
予約受付期間: 6月1日～6月7日
対象公演: 6月20日～25日
昼の部 11時開演
販売価格: 1等席 18,000円
⇒ 16,000円
予約専用WEBサイト
https://www.1ticket-web-shochiku.com/grp/

お問い合わせ先
sh_kabukiza-dantai@shochiku.co.jp